東京工業大学
Tokyo Institute of Technology

教養特論
現代社会の課題とコミュニケーション

授業ガイダンス

HAKUHODO

自己紹介

株式会社博報堂

博報堂ブランド・イノベーションデザイン

ディレクター

岡田庄生

自己紹介

普段の仕事

- ✓ 企業ビジョンやロゴ、キャッチフレーズを作る
- ✓ 新商品や新ブランドの開発
- ✓ 広告や広報戦略を考える
- ✓ 人材育成の研修

これまでの担当業界

- ✓ ビール、飲料、食品、自動車、文房具、化粧品・・
- ✓ 外務省、経済産業省、政党、国連・・

自己紹介

買わせる
発想
相手の心を動かす
3つの習慣
岡田庄生
数々のクライアントが呆然!
博報堂・若手敏腕コンサルの
「幻の講義」
クーポン券を配っても、
ボウリング場に若者は来ない。
惰性の「マーケティング」や「営業」を捨て、
3つの習慣で、今日から変わる!

岡田庄生
\お客様を買う気にさせる/
「価値」の
見つけ方
冷蔵庫の中身がパンパンの
シニア層が多いのはなぜ?
「お客様の意外な本音」
を引き出す発想法を解説
アイデアのヒントは、データの中ではなく、目の前にある!

THE ASTONISHING
BRAINSTORMING METHOD
AT HAKUHODO
博報堂の
すごい
打ち合わせ
社員から、
新しい発想が
次々と飛び出す
会話のしくみ

本講座の目的

現代社会の課題をコミュニケーションやアイデアで解決する方法を知る

- 博報堂の現役社員から、具体的な最新事例を聞く
- 3つの力　①問いを立てる力　②構想を描く力
  ③行動を創る力　を身につける
- グループディスカッションや質疑応答を通じて主体的に学ぶ

本講座の目的

リベラルアーツ研究教育院は21世紀社会の時代的課題を把握し、その中での自らの役割を認識する「社会性」、自らを深く探究する「人間性」、行動し、挑戦、実現する「創造性」を兼ね備え、より良き未来社会を築く「志」のある人材を育成します。

本講座の構成 （敬称略）

1回目 (10/1)	授業ガイダンス ／ 現代社会の課題とコミュニケーションについて	岡田 庄生
2回目 (10/15)	問いを立てる力（１） 講義	執行役員 嶋本 達嗣
3回目 (10/22)	問いを立てる力（２） ワークショップ	岡田 庄生
4回目 (10/29)	構想を描く力 講義	ストラテジックプラナー 石附 洋徳
5回目 (11/5)	行動を創る力（１） 講義	issue+design代表 筧 裕介
6回目 (11/12)	行動を創る力（２） 講義	広報室 大木浩士
7回目 (11/19)	構想を描く・行動を創る ワークショップ	岡田 庄生
8回目 (11/26)	課題レポートの発表	岡田 庄生

日程に注意

成績

- 試験は行いません
- 評価は、下記の合計にて行う予定です
  - 出席・コメントシート（ほぼ毎回）
    ＋授業発言・ワークショップ貢献度　：50%
  - 課題レポート（8回目に持参）　：50%
- 60%以下が不合格です

課題レポートについて

- 各自が気になる現代社会の課題を具体的に1つ取り上げて、以下の3つの視点を使って分析する。
  - ① 問いを立てる：自分自身の生活の中での気付きから社会の課題を解決する糸口を見つける
  - ② 構想を描く：周りを巻き込むような魅力的なビジョンを作る
  - ③ 行動を創る：人々が参加したくなるような仕組みやアイデアを考える
- A4で2枚程度（1500文字～2000字）
- 締め切り：8回目の授業に印刷したものを持参して、授業内で発表し、提出する。

受講に際しての注意事項

- 教科書はありません。
- 各回の投影資料は、具体的な事例を多く使用する関係上、公開できる範囲が少ないです。
  - なるべくゆっくり進めますが、スライドを進めるスピードが早い場合は指摘して下さい
- 学生同士の話し合いが多いです
  - ほぼ毎回、話し合いの時間があります。またワークショップでは、チームを組んで議論したり発表します。周りの人と話すのが恥ずかしい人や、「講義形式の聞くだけが良いな」と思っている人には向いていません。

禁止事項

- **遅刻禁止**：周りとの話し合いやグループワークの際に周りの迷惑になります。
- **勝手なおしゃべり禁止**：グループワーク中はたくさん話して下さい。ただし、講師が話している間は、周りの迷惑になるので、私語は禁止。
- **具体的な企業名をSNSで投稿するのは禁止**
- **出席の代筆禁止**：書いた人にも頼んだ人にも厳し対処します。

履修予約について

- 履修生が定員を超えているので、履修予約していない学生は履修できません。
- 毎年、履修予約していたつもりができていなかった、という方が数名いますので、気をつけて下さい。

質問・問い合わせ

- 岡田までメールを下さい
  - shoo.okada@hakuhodo.co.jp
- 直接話をしたい場合は、毎回の授業後（15時～17時）に時間をとりますので、５日前までにメールで予約をして下さい。